



垂水市議会議員
篠原 静則

新年のごあいさつ

議会 Assembly

行政 Administration



垂水市長
尾脇 雅弥

試練を乗り越え希望溢れる年に

喜びを共有する年に

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様には、穏やかに新たな年をお迎えのことと思います。昨年を振り返りますと、何をさておき「新型コロナウイルス感染症」の世界的な流行によりまして、世界経済が深刻な状況に陥りました。日本におきましても「東京オリンピック・パラリンピック」の延期、また「燃ゆる感動かごしま国体」も2023年の開催となるなど、様々な分野において多大な影響を及ぼしました。本市でも各行事やイベントの自粛、学校の休業等様々な影響がありました。が、何より経済的損失が大きく、特に農畜産業・水産業・商工業等に著しい影響がありましたことから、議事として執行政部と一丸となり、経済対策を優先的に取り組んで参りました。

た。今後も、市民の生活を守るために早急な対応に努めたいと考えております。また、新庁舎建設の是非を問う住民投票が8月に実施され、結果として「反対」が多数となりました。今後の新たな計画に議会としても、これまで以上に積極的に意見し、執行部と共に最良な計画が実施できるように協力して参ります。一方、令和2年7月豪雨では、特に隣県の熊本県球磨村・人吉市での球磨川の氾濫や土石流等の被害により、多数の方々犠牲となり、多難な状況に陥りました。一日も早い復興を願いたいと思います。幸いにも本市では人的被害はありませんでしたが、改めて災害に対する訓練や対策の必要性を感じたところでございます。

出身の力士「正代」が初優勝。さらにプロ野球では、福岡ソフトバンクが4年連続の日本一となり、九州勢の活躍が目立った年でもありました。さて、2021年がスタートしました。市民の皆様が、この一年を安心・安全に過ごされる年であり、またすように期待するところがございます。皆様「住んで良かった」と思えるまちづくりを実践するべく首長と共に二元代表制の一翼を担っている議会の役割は、今後ますます重要になると考えております。執行部との連携を保ちながら皆様の声を市政に反映させる重要な責務を果たして参る所存でございます。この一年が素晴らしい年であり、多岐にわたりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの影響により、大変ご苦労された一年であったと思えます。本市でも学校の休業を余儀なくされたほか、外出自粛や物流の停滞等により、商工業・水産業・農畜産業関係者も甚大な被害を被りました。各種行事やイベント等も自粛が続き、市としては、「たるみず元気プロジェクト」等が中止となり、鹿児島県全体としても「燃ゆる感動かごしま国体」が延期となりました。このような中、感染予防の為、全市民の皆様へマスクの配布を行ったほか、医療・介護・福祉従事者の皆様のご尽力への感謝を込めて「カンパチ」「ブリ」をお送りさせていただきました。

た。また、経済対策として、2回のプレミアム商品券発行等、様々な支援事業に取り組んでおります。出口のないトンネルはありません。「ピンチをチャンス」に変えて元気な町づくりを進めてまいります。さて本市では、平成24年2月に庁内検討委員会を設置し、それ以降、新庁舎建設に向けて準備を進めてまいりました。昨年3月に実施設計が完了し、6月議会にて建設に関する予算を可決いただき、新庁舎の事業費や規模、機能などがお示しできる段階になったことから、主権者である市民の皆様のご意思を最終確認するため、8月に住民投票を実施いたしました。その結果、反対が賛成を上回ったため、計画を白紙とさせていただきます。この結果を踏まえ、ノーサイドにして、

垂水市が未来へ向かって進み続けるために、また、子どもや孫の世代のために責任ある立場として、次のまちづくりを考えていきたいと存じます。さて、今年「辛丑（かのとうし）」の年であり、辛は、磨き上げられた宝石や砂金を表し、牛は粘り強さと誠実さを意味すると言われています。市民の皆様が「健康で住んで良かった」と思えるまちづくりに向け、「垂水市の発展」と「市民の皆様のご幸福」のために粘り強く努力を重ね、誠実に市政運営に向かい合い、皆様と輝きあふれる喜びを共有する年にしたいと考えております。新しい年が皆様にとりまして素晴らしい一年となります。心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。